

# フェンダーガーニッシュ type-X 取付要領書

| 車名 : RAV4 | 年式 : 25.12- | 適合 : Adventure |

このたびは、ジャオスの商品をお買い上げいただきましてありがとうございます。  
本書は「フェンダーガーニッシュ type-X」の取り付けについて記載してあります。  
商品を取り付けるまえに必ずお読みいただき、正しく取り付けを行ってください。

商品の取り付けには危険を伴う場合がございますので、専門知識を有する自動車用品販売店  
または自動車整備工場での取り付けを推奨します。



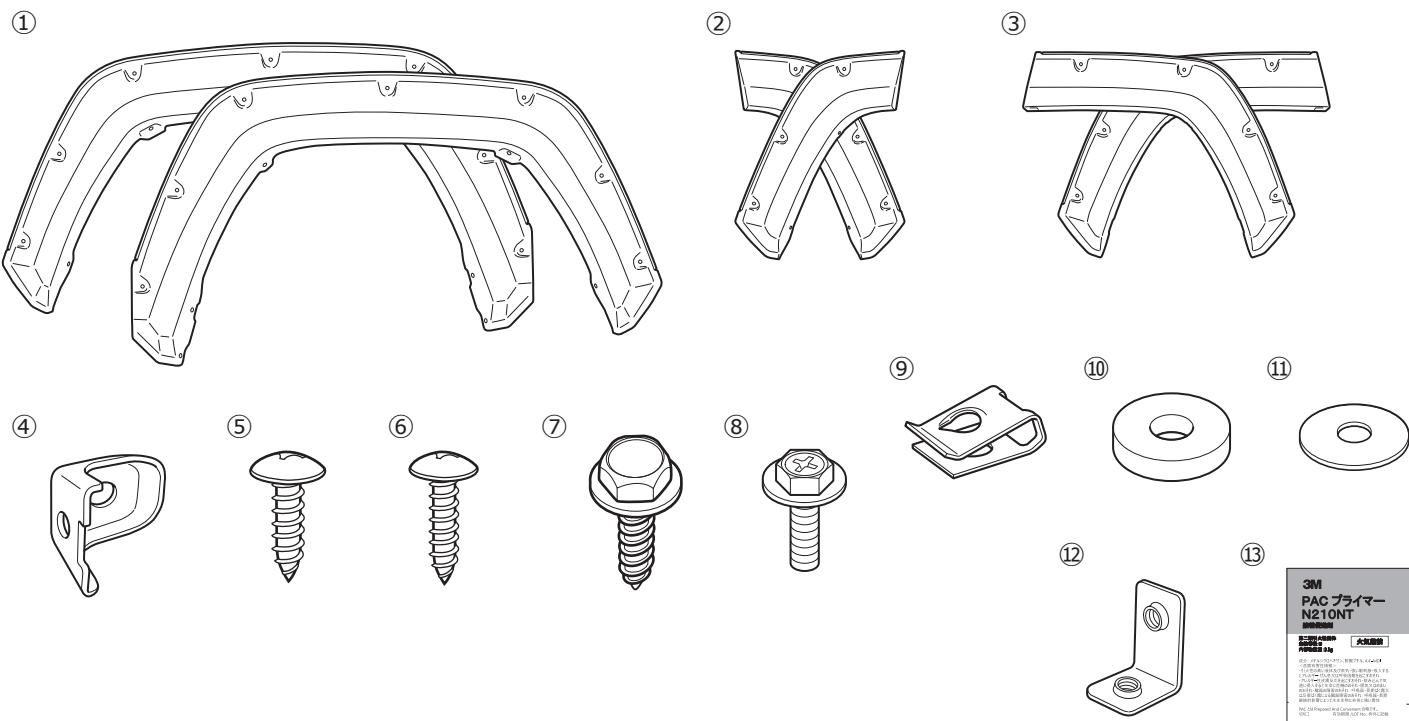
**三** 商品の取り付け完了後、本書を必ずお客様にお渡しください。



取付参考時間 : 3.0時間

## 構成部品

※商品を取り付けるまえに商品の状態（破損や故障）と付属品の有無をご確認ください



## ■取り付けに必要な工具

一般工具  トルクレンチ  軍手  保護シート  保護テープ  養生テープ  マスキングテープ

No.	品名	個数	No.	品名	個数
①	フェンダーガーニッシュ(F フェンダー／左右)	各 1	⑧	六角アプセットボルト (P=1)	4
②	フェンダーガーニッシュ (R ドア／左右)	各 1	⑨	スピードナット	2
③	フェンダーガーニッシュ(R フェンダー／左右)	各 1	⑩	スペーサー	6
④	フロントブラケット	2	⑪	ワッシャー	2
⑤	タッピングスクリュー (M5)	2	⑫	リヤブラケット	2
⑥	タッピングスクリュー (M4)	2	⑬	PAC プライマー	1
⑦	六角フランジ付きタッピングスクリュー (M6)	2			

# 取り扱い上のご注意

## この取付要領書で使用している表示の意味と内容

- 警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、生命の危険または重大な障害を負う可能性がある内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、事故による障害を負う可能性または物的損害が想定する内容を示しています。
- アドバイス** この表示は効率よく作業を行うために知りたい内容を示しています。

商品は改良のため仕様および形状などを予告なく変更することがあります

## 取り付け作業を行うまえに

- 警告** ●取り付ける車両の安全を確認・確保してください。
- 注意** ●取付要領書を必ずお読みください。

## 安全に作業を行うために

- 注意** ●純正部品の脱着は当該車両の修理書にしたがい作業を行ってください。
- 製品は丁寧に扱ってください。
- 作業に適した服装で作業を行ってください。

## 取り付けについて

- 警告** ●必ず既定の締め付けトルクにて締め付けを行ってください。
- 注意** ●取り付け後には必ず取り付け確認と走行テストを行ってください。

## 使用上の注意事項

- 警告** ●設計荷重の範囲内で使用してください。
- 注意** ●定期的な点検を行ってください。  
●薬品などの付着に注意してください。  
●路面とのクリアランスや環境変化による走行には十分ご注意ください。

## 中古品の売買および譲渡や廃棄について

- 注意** ●同じ商品でも販売時期や仕様変更などにより内容が異なる場合があります。
- 商品や付属品が正確に判別することができない場合、お問い合わせに対しての回答内容は保証いたしかねますのでご了承ください。
- 商品に不具合が生じている場合はお買い求めの販売店や弊社にご相談ください。

- アドバイス** ●商品の破棄は専門家に相談してください。

## 保証について

### ●初期不良の保証…お届けから1週間以内

商品の破損、不具合などトラブルがあった場合、初期不良の保証対象として修理、代品交換、返品を承ります。

### ●製品保証…弊社オリジナル商品はご購入より1年間

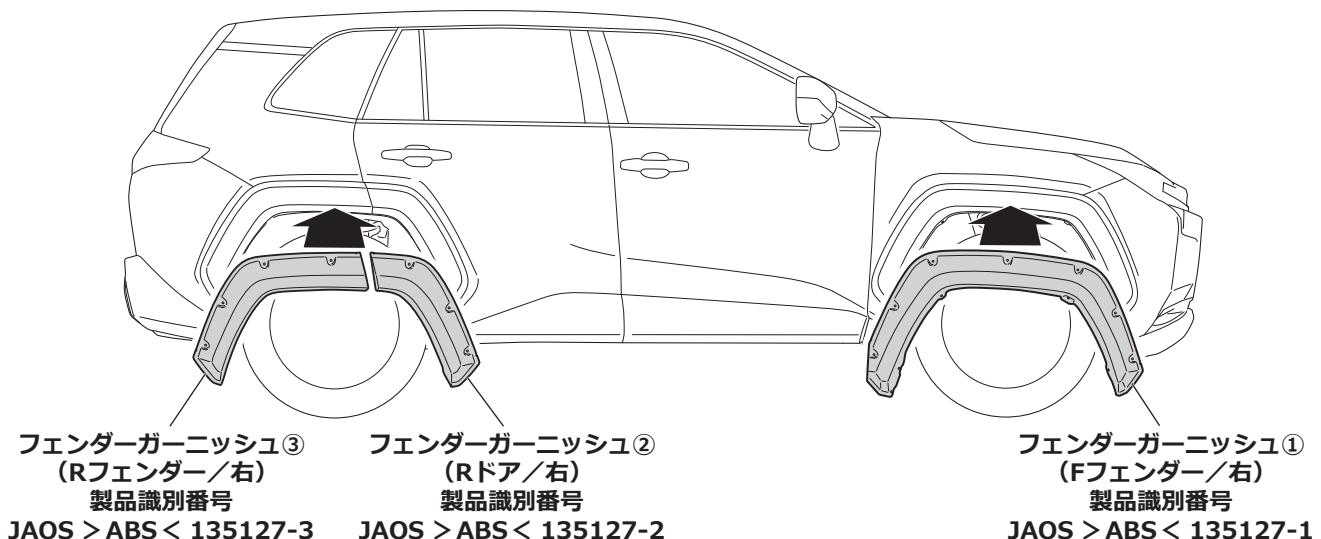
※ただし、期間内でも走行距離20,000kmまで初期不良に該当する場合や一部消耗品を除き、購入履歴をお調べし規定に従い保証いたします。

① 保証についての詳細はJAOSオフィシャルサイトをご参照ください。 [保証について] [www.jaos.co.jp/support/policy](http://www.jaos.co.jp/support/policy)



## 取り付け位置の確認

※○の数字は本書の構成部品番号です。

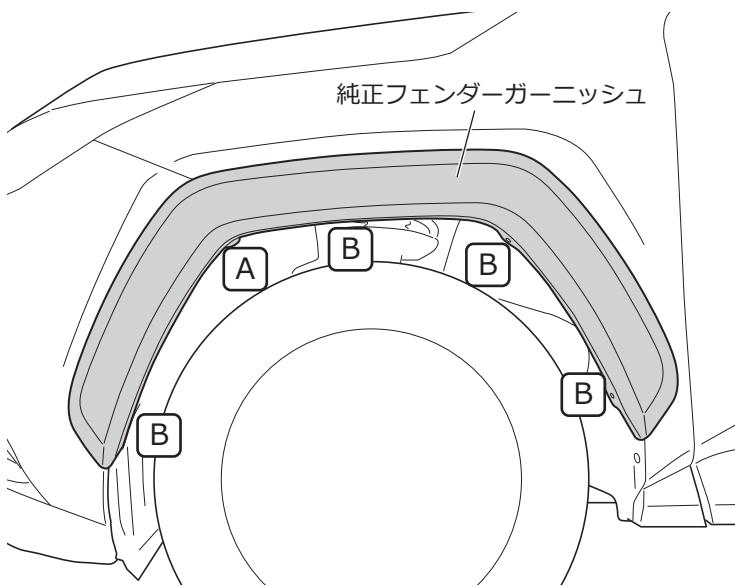


**取付要領**

※図中や文中の○数字は構成部品のナンバー ●数字は作業の順番を示しています

**1. フロント側の取り付け準備**

左側図示 ※右側も同様



□図Aの箇所から純正スクリュー、図Bの箇所から純正クリップを取り外します。

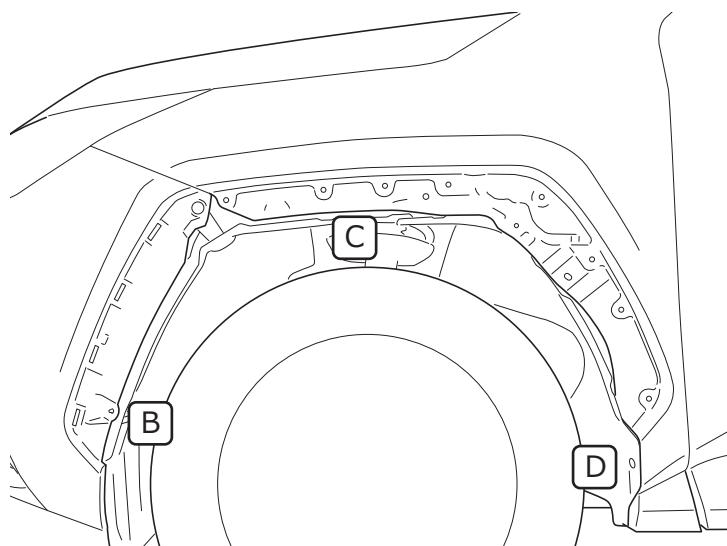
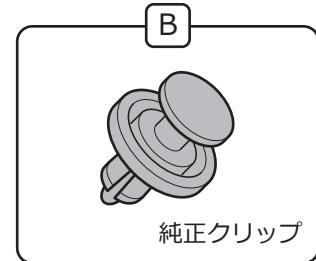
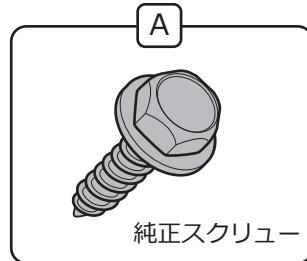


**アドバイス** 取り外した純正スクリュー、純正クリップは再使用しますので、紛失しないように保管してください。

□車両から純正フェンダーガーニッシュを取り外します。



**アドバイス** 取り外した純正フェンダーガーニッシュは使用しません。



□図Bの拡大図を参照し、フロントブラケット④にスピードナット⑨を取り付けます。

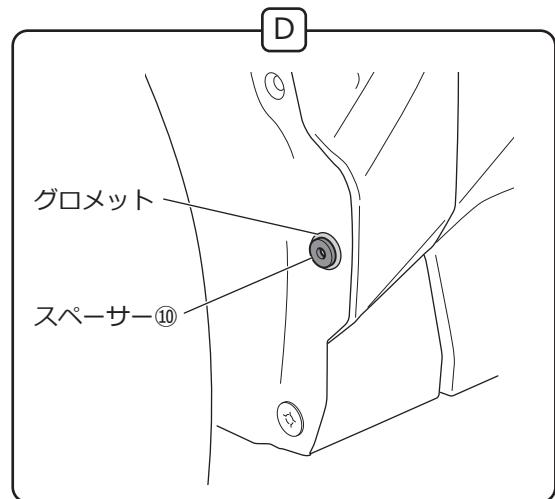
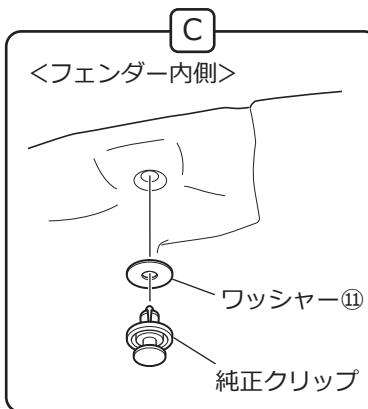
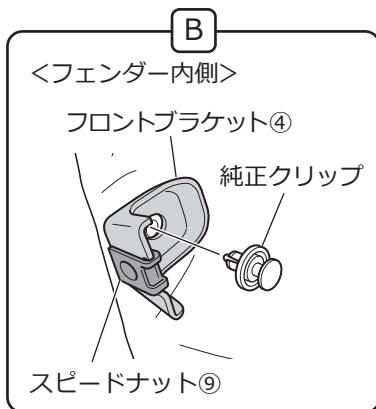
□図Bの箇所に純正クリップでフロントブラケット④を取り付けます。

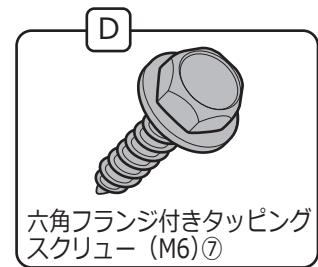
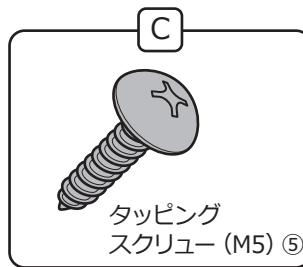
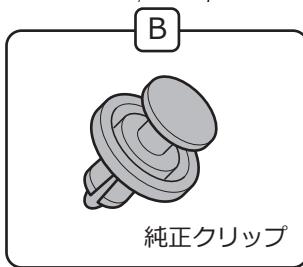
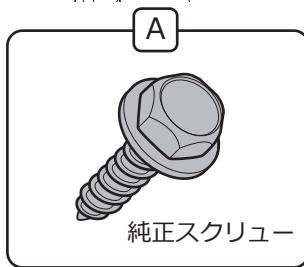
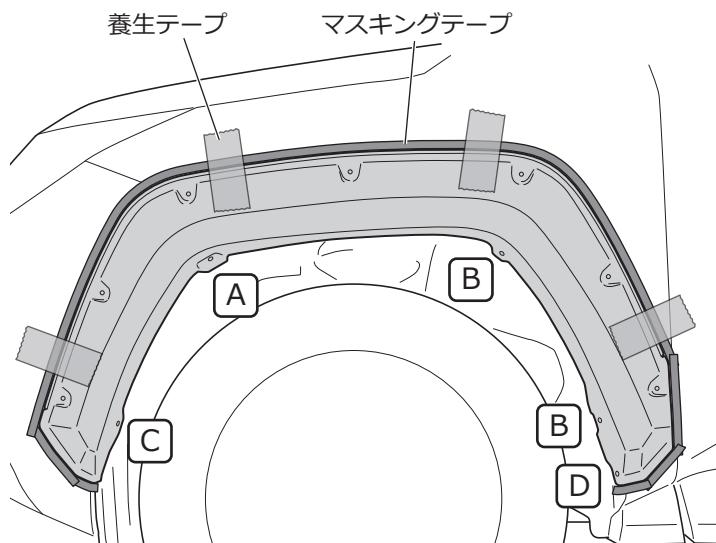
□図Cの箇所にワッシャー⑪を使用して取り外した純正クリップを戻します。

□図Dのグロメットを清掃・脱脂し、スペーサー⑩を貼り付けます。



**アドバイス** 純正マッドガード装着車の場合、スペーサー⑩は使用しません。





□ フェンダーガーニッシュ① (F フェンダー) を車両にあてがい、養生テープで固定します。

□ 図Aの箇所を純正スクリュー、図Bの箇所を純正クリップ、図Cの箇所をタッピングスクリュー (M5) ⑤、図Dの箇所を六角フランジ付きタッピングスクリュー (M6) ⑦で仮締めします。

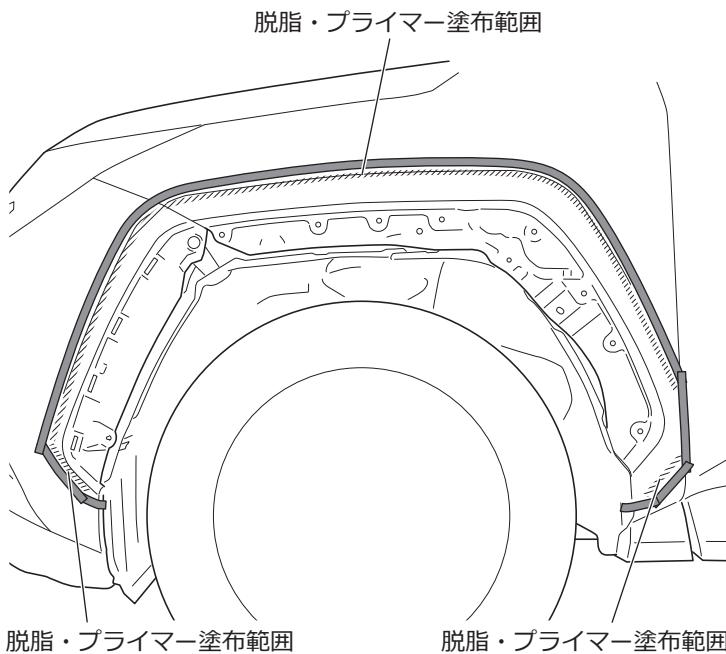


円弧、意匠面を必ず揃えてください。

「仮締め」とは留めている物をほぼ固定し、少し調整できる程度の状態です。

□ 取り付け位置をマスキングテープで図のようにマークします。

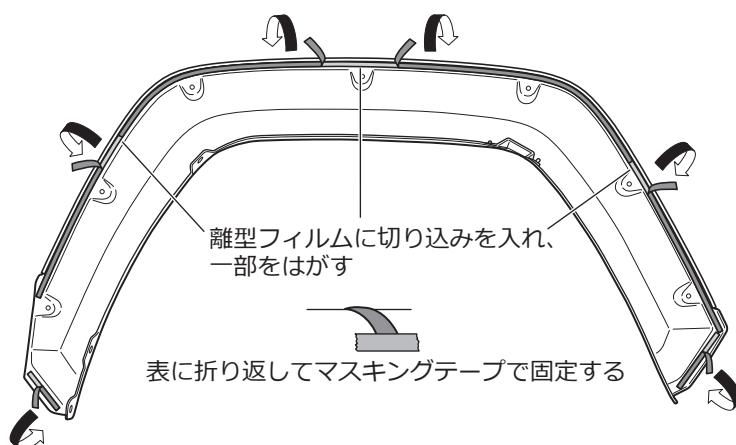
□ フェンダーガーニッシュ (F フェンダー) ①を取り外します。



□ 両面テープの接着面（斜線部）を清掃・脱脂し、同じ箇所に PAC プライマー⑪を塗布します。



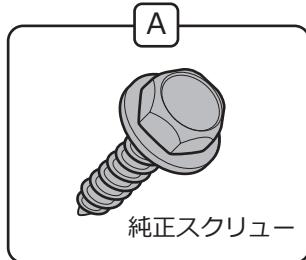
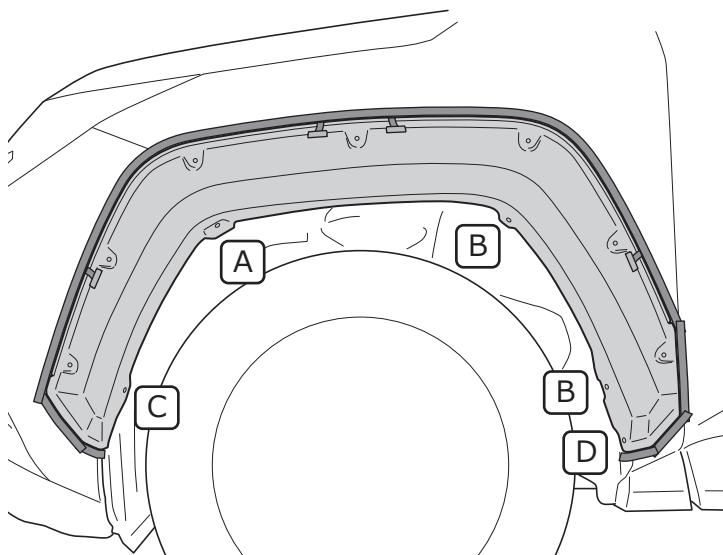
注意 PAC プライマー⑪はあとの作業でも使用するため、捨てずに保管してください。



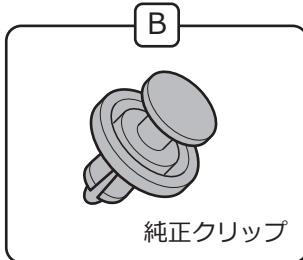
□ 製品ウラ側の両面テープ離型フィルムを矢印の方向に一部はがして表側（意匠面）に折り返し、マスキングテープで貼り付け固定します。

## 2. フロント側の取り付け

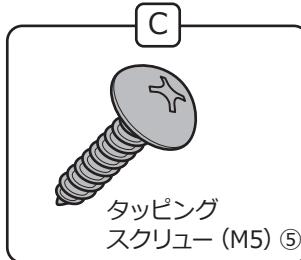
左側図示 ※右側も同様



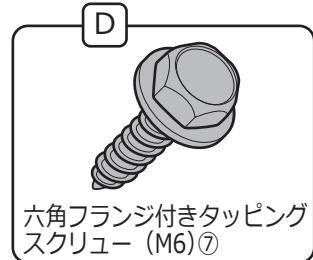
純正スクリュー



純正クリップ



タッピング  
スクリュー (M5) ⑤

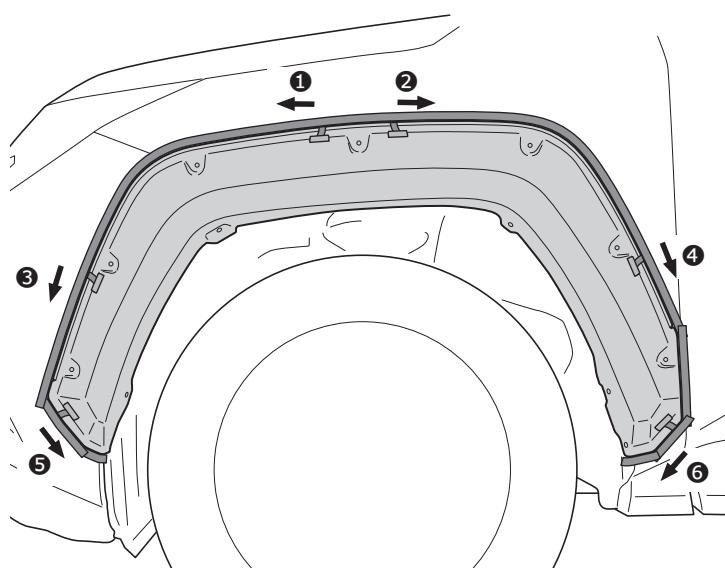


六角フランジ付きタッピング  
スクリュー (M6) ⑦

□ フェンダーガーニッシュ (Fフェンダー) ①を車両にあてがいます。

□ 図Aの箇所を純正スクリュー、図Bの箇所を純正クリップ、図Cの箇所をタッピングスクリュー (M5) ⑤、図Dの箇所を六角フランジ付きタッピングスクリュー (M6) ⑦で仮締めします。

**アドバイス** | 円弧、意匠面を必ず揃えてください。



□ 上下左右のバランス、隙、穴位置などのズレがないことを確認し、折り返した両面テープの離型フィルムを図の順に引き抜きながら圧着します (①~⑥)。

□ すべてのマスキングテープをはがします。

□ 仮締めしていた純正スクリューとタッピングスクリュー (M5) ⑤、六角フランジ付きタッピングスクリュー (M6) ⑦を本締めします。

**アドバイス**

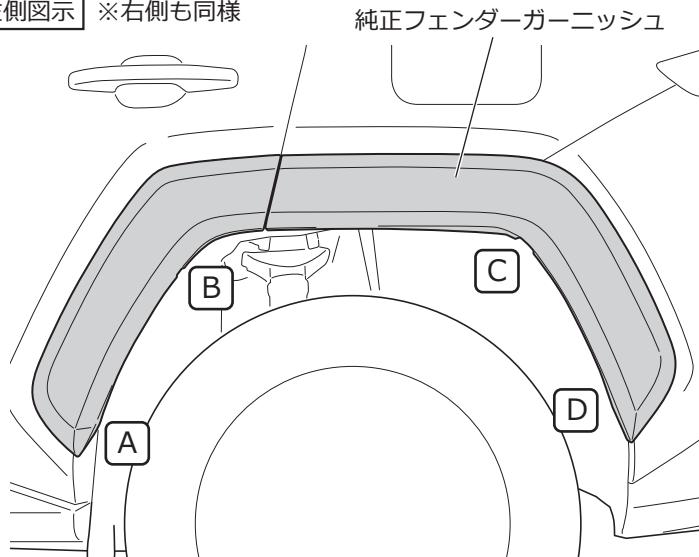
作業環境の温度が20°C以下の場合、両面テープの接着力が著しく低下します。両面テープや接着面をドライヤーなどで温めてから作業を行ってください。

両面テープの圧着は49 N (5 kgf) 以上 [車が少し揺れる程度] の力で行ってください。

両面テープは接着力が安定するまで最低3時間程度必要です。取り付け完了後は車両の移動による強い振動や風圧に注意し、力を加えたり洗車や雨による水がかからないようにしてください。

### 3. リヤ側の取り付け準備

左側図示 ※右側も同様



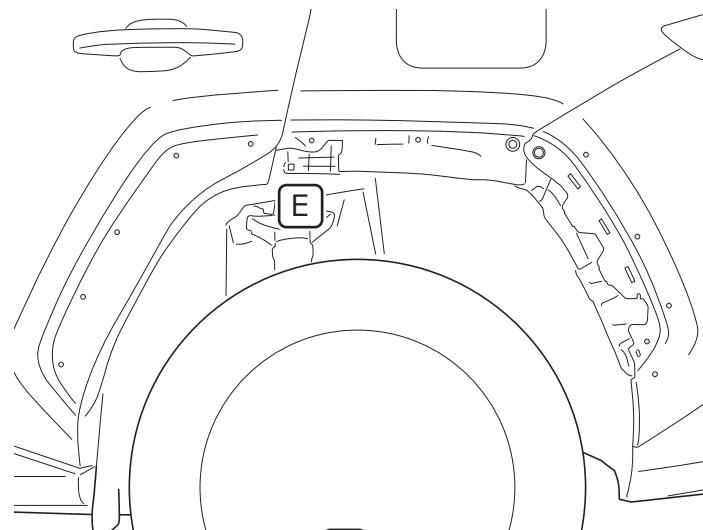
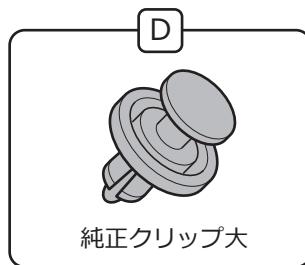
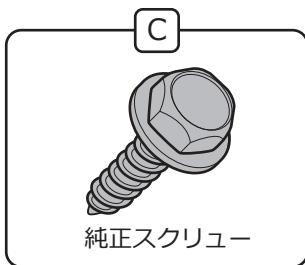
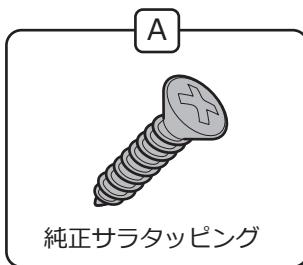
□図Bの箇所から純正クリップ小、図Cの箇所から純正スクリュー、図Dの箇所から純正クリップ大を取り外します。

**アドバイス** | 取り外した純正クリップ小、純正クリップ大、純正スクリューは再使用しますので、紛失しないように保管してください。

□図Aの箇所から純正サラタッピングを取り外します。

□車両から純正フェンダーガーニッシュを取り外します。

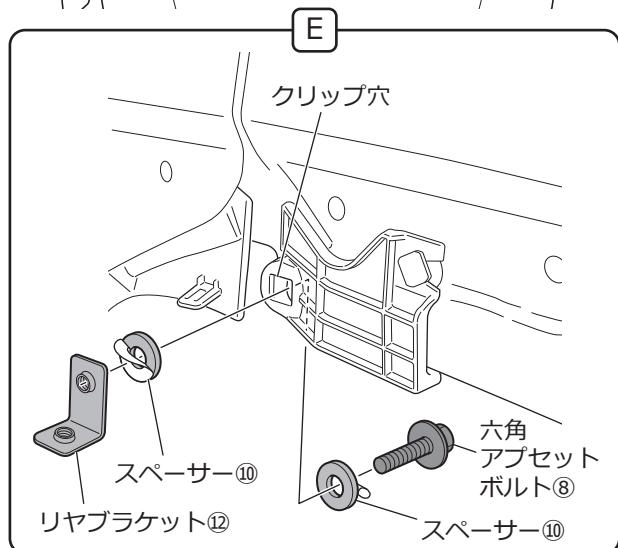
**アドバイス** | 取り外した純正サラタッピングと純正フェンダーガーニッシュは使用しません。

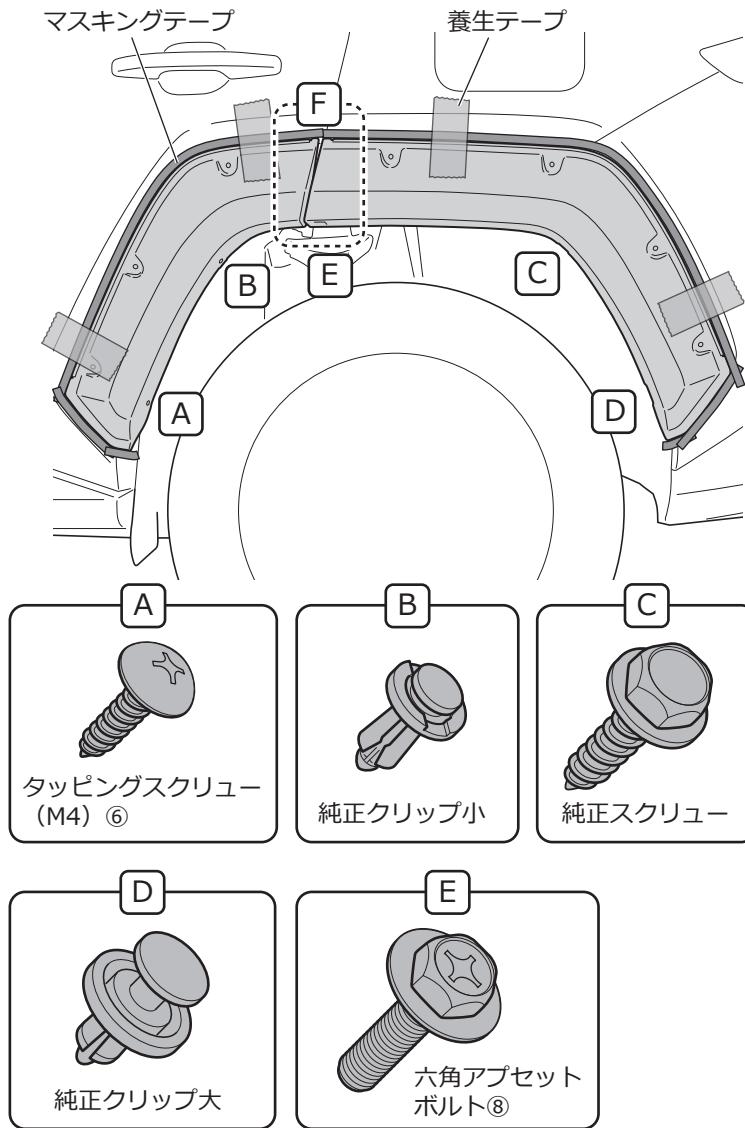


□図Eの拡大図を参照し、リヤブラケット⑫と六角アプセットボルト⑧のスペーサー⑩貼付面を清掃・脱脂し、スペーサー⑩を貼り付けます。

□図Eのクリップ穴にスペーサー⑩と六角アプセットボルト⑧でリヤブラケット⑫を仮固定します。

**注意** | 六角アプセットボルト⑧は最後に必ず本締めしてください。





□ フェンダーガーニッシュ (R ドア) ②とフェンダーガーニッシュ (R フェンダー) ③を車両にあてがい、養生テープで固定します。

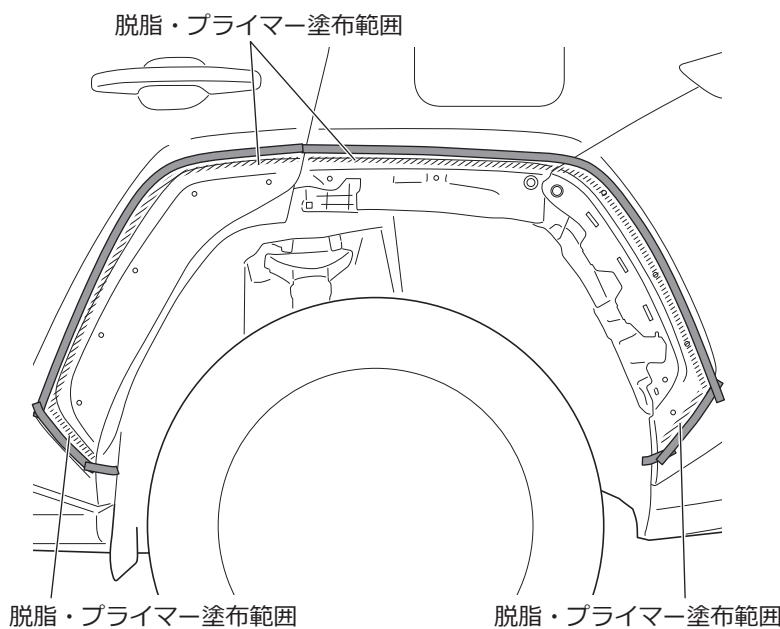
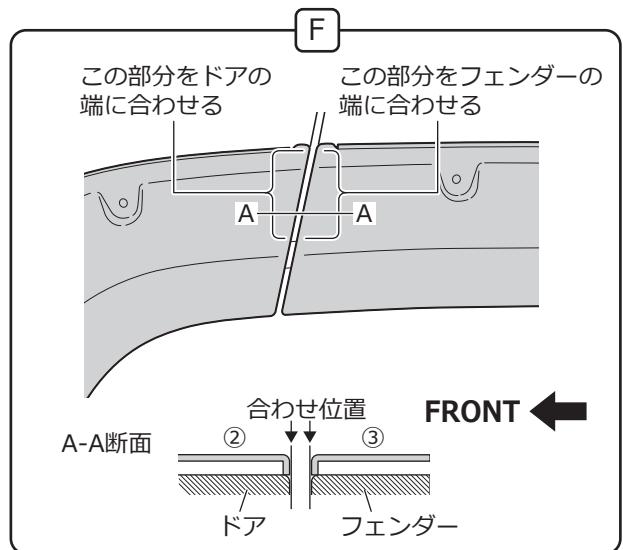
□ 図Aの箇所をタッピングスクリュー (M4) ⑥、図Bの箇所を純正クリップ小、図Cの箇所を純正スクリュー、図Dの箇所を純正クリップ大、図Eの箇所を六角アッセツトボルト⑧で仮締めします。

### アドバイス

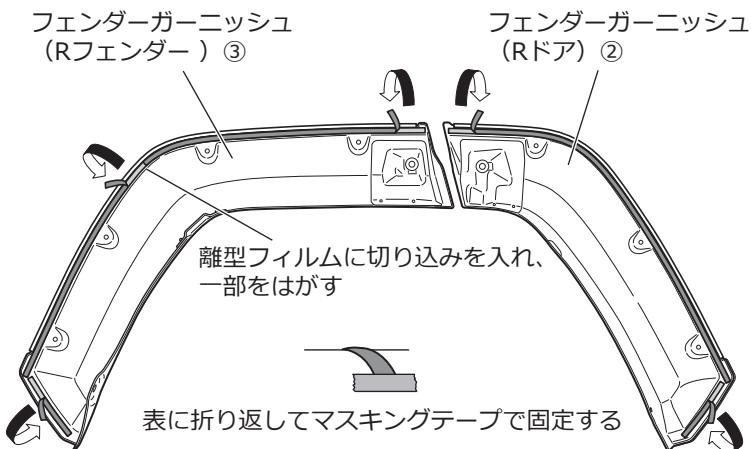
図F部、円弧、意匠面を必ず揃えてください。  
「仮締め」とは留めている物をほぼ固定し、少し調整できる程度の状態です。

□ 取り付け位置をマスキングテープで図のようにマークします。

□ フェンダーガーニッシュ (R ドア) ②とフェンダーガーニッシュ (R フェンダー) ③を取り外します。



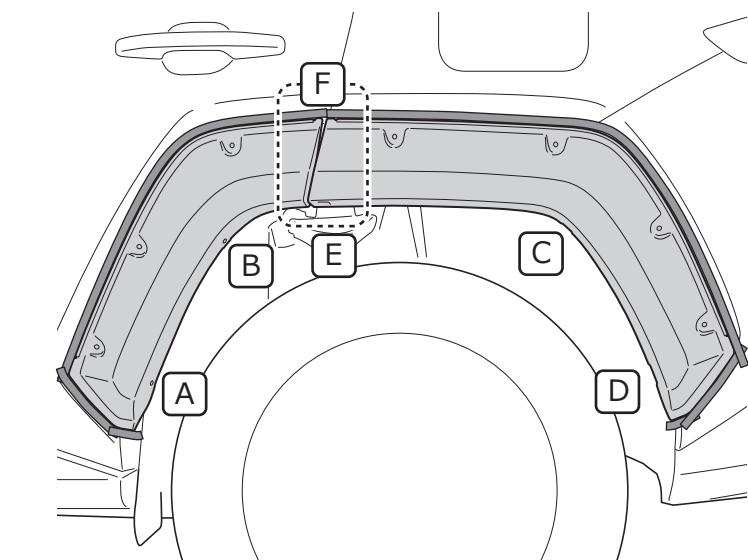
□ 両面テープの接着面（斜線部）を清掃・脱脂し、同じ箇所にPACプライマー⑪を塗布します。



□製品ウラ側の両面テープ離型フィルムを矢印の方向に一部はがして表側（意匠面）に折り返し、マスキングテープで貼り付け固定します。

#### 4. リヤ側の取り付け

**左側図示** ※右側も同様



□フェンダーガーニッシュ (R ドア) ②を車両にあてがい、図Bの箇所を純正クリップ小で固定します。

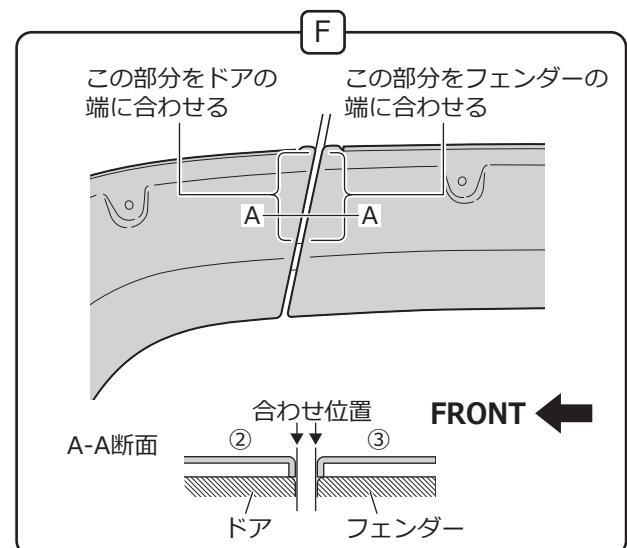
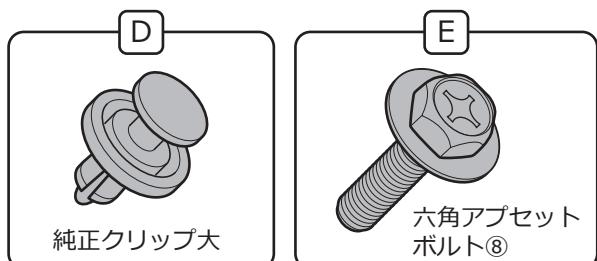
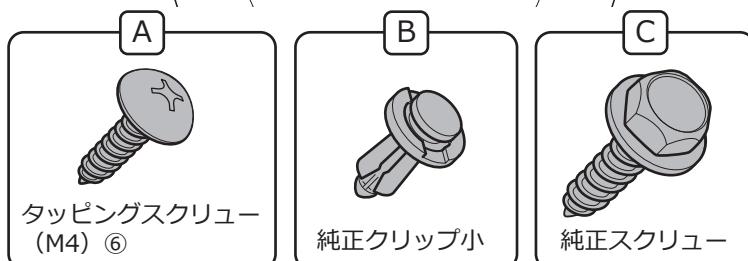
□図Aの箇所をタッピングスクリュー (M4) ⑥で仮締めします。

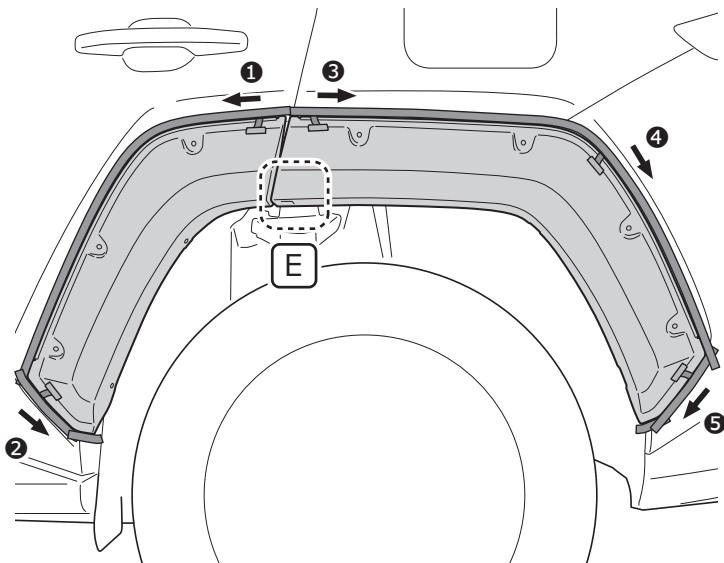
□フェンダーガーニッシュ (R フェンダー) ③を車両にあてがい、図Dの箇所を純正クリップ大で固定します。

□図Cの箇所を純正スクリューで仮締めします。

□図Eの箇所を六角アプセットボルト⑧で仮締めします。

**アドバイス** | 図F部、円弧、意匠面を必ず揃えてください。





□上下左右のバランス、隙、穴位置などのズレがないことを確認し、折り返した両面テープの離型フィルムを図の順に引き抜きながら圧着します（①～⑤）。

□すべてのマスキングテープをはがします。

□仮締めしていた純正スクリュー、タッピングスクリュー（M4）⑥、六角アプセットボルト⑧（2箇所）を本締めします。

#### 注意

図E部の六角アプセットボルト⑧は2箇所ありますので、忘れずに本締めしてください。

#### アドバイス

作業環境の温度が20°C以下の場合、両面テープの接着力が著しく低下します。両面テープや接着面をドライヤーなどで温めてから作業を行ってください。

両面テープの圧着は49 N (5 kgf)以上 [車が少し揺れる程度] の力で行ってください。

両面テープは接着力が安定するまで最低3時間程度必要です。取り付け完了後は車両の移動による強い振動や風圧に注意し、力を加えたり洗車や雨による水がかからないようにしてください。

## 取り付け状態の確認

#### 注意

作業完了後は必ず取り付け確認を行ってください。ボルト類の締め忘れや両面テープ部の圧着不足などにより本体が脱落するおそれがありたいへん危険です。